

一般国道9号 御茶屋川交差点改良事業

事業概要

当該箇所は、国道9号と県道米子伯太線とが交わる交差点であり、交通量が多く右折レーンが無い為、右折待ち車両の滞留への追突事故が多発している箇所である。

本事業は、右折レーン設置により直進阻害解消、車両の誘導を適正化することにより交差点における事故防止および交通渋滞の解消を図るものである。

平成27年度は、調査設計、用地買収及び工事を実施する予定である。



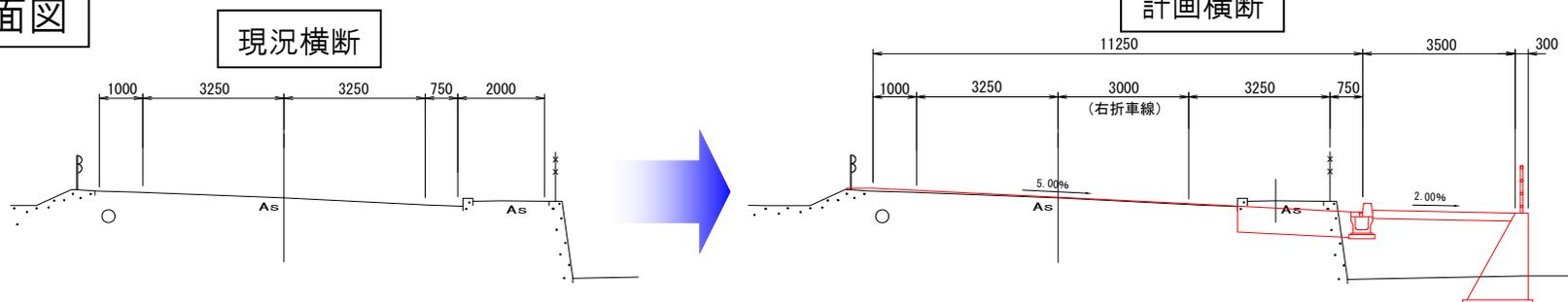
事業箇所図



状況写真



標準断面図



ご た ん だ 一般国道9号 五反田交差点改良事業

事業概要

当該箇所は、国道9号と町道五反田線とが交わる交差点であり、交通量が多く右折レーンが無いため、右折待ち車両の滞流により追突事故が多発し、事故危険箇所指定されている。

本事業は、右折レーン設置により直進阻害解消、車両の誘導を適正化することにより交差点における事故防止および交通渋滞の緩和、解消を図るものである。

平成27年度は、調査設計及び工事を実施する予定である。



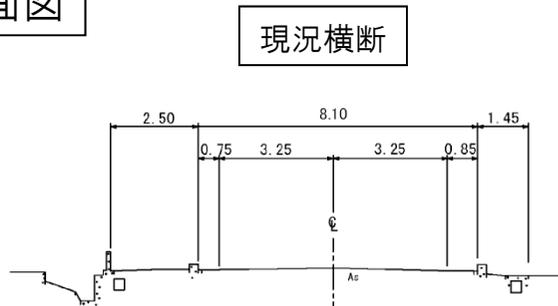
事業箇所図



状況写真

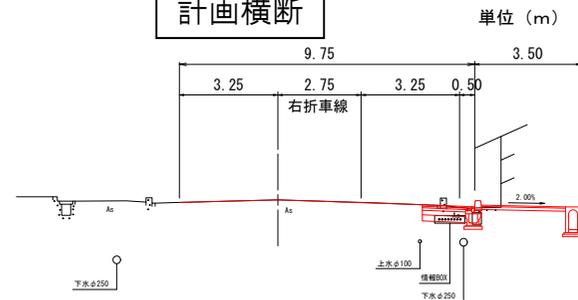


標準断面図



現況横断

計画横断



単位 (m)

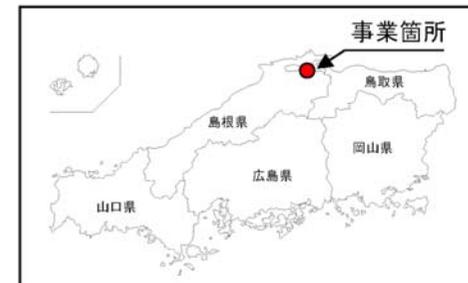
い や 一般国道9号 揖屋自転車歩行者道整備事業

事業概要

当該箇所は、北側にしか歩道がなく、特に朝は東出雲中学校に自転車通学する生徒と松江市内に自転車通学する高校生と交錯していることから、生徒の一部は南側車道を通行し、また、沿道には商業施設等が多くあるため、歩道利用者も多く非常に危険な状態となっている。

本事業は、南側に自転車歩行者道の整備を行い、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

平成27年度は、調査設計、用地買収及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

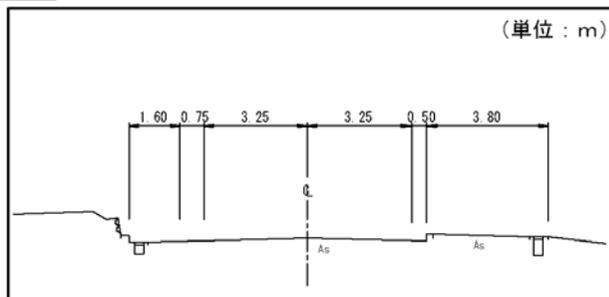


状況写真

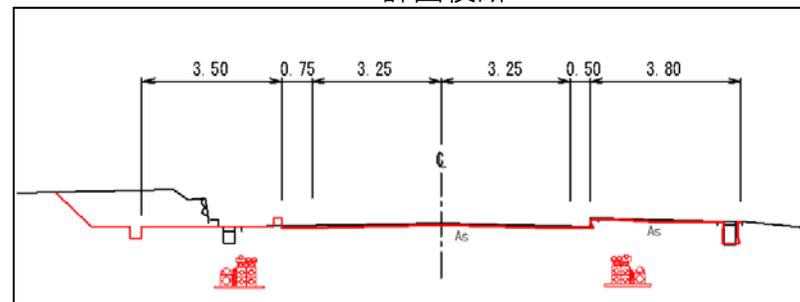


標準断面図

現況横断



計画横断



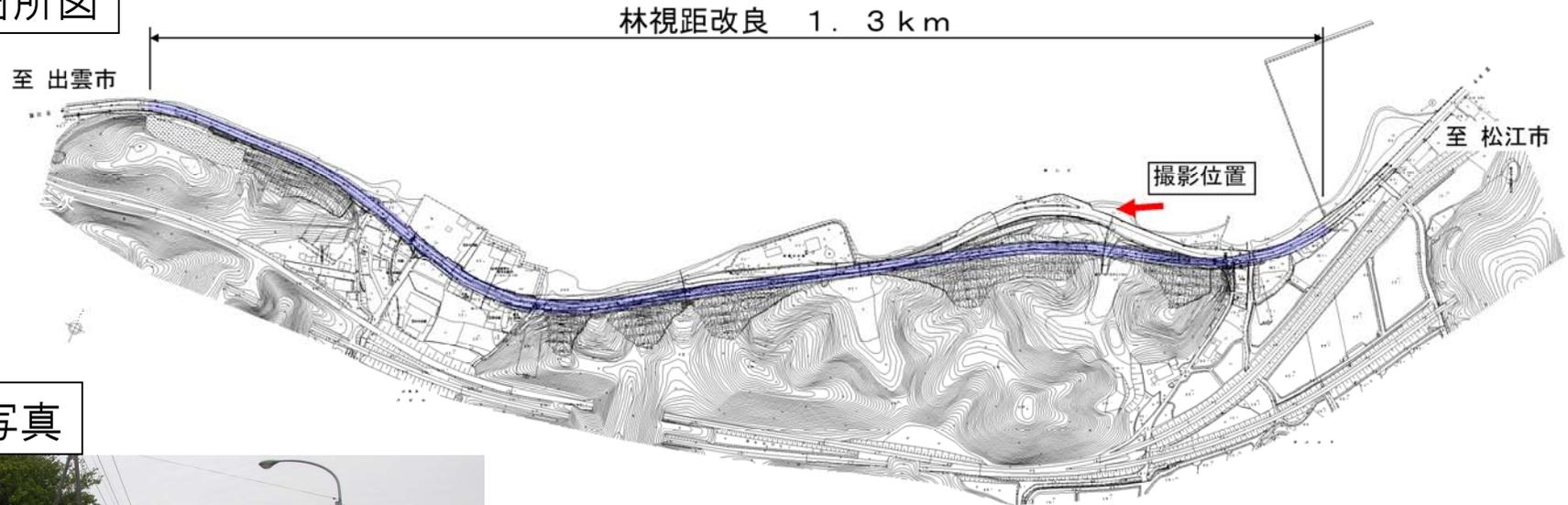
一般国道9号 ^{はやし} 林視距改良事業

事業概要

当該箇所は、急なカーブが連続する区間であり、年平均4件と事故が多発しているため、事故防止対策措置として、減速破線の設置等の対策を行い事故が一時的に減少したものの、それでもなお事故が発生し危険な状態である。本事業は、視距改良を行うことにより、安全性の向上を図るものである。平成27年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



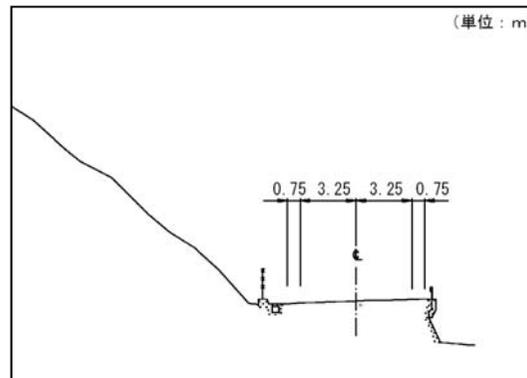
事業箇所図



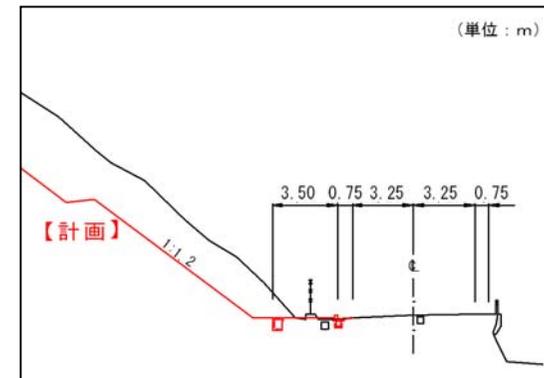
状況写真



現況横断



計画横断



なおえ

一般国道9号 直江交差点改良事業

事業概要

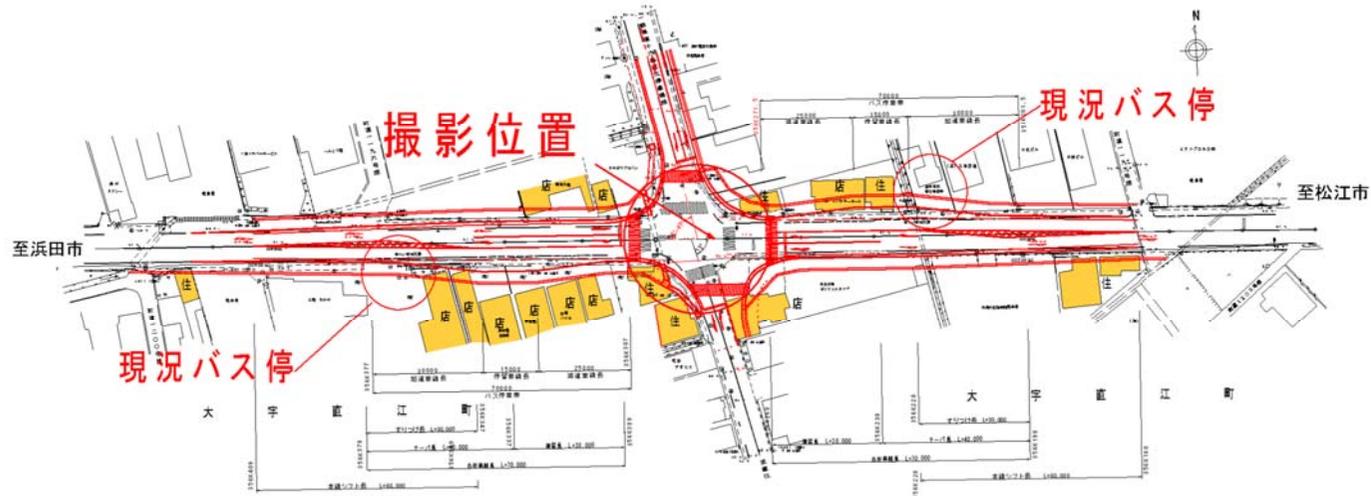
当該箇所は、国道9号と県道十六島直江停車場線とが交わる交差点であり、交通量が多く右折車線が無いとため、右折待ち車両の滞留により追突事故が多発している。また、中部小学校の通学路として指定されており、国道9号横断のための歩行者溜まりもない狭幅な状況から危険な状況にある。

本事業は、右折車線設置により直進阻害を解消することにより交差点における事故防止および交通渋滞の緩和、解消を図るものである。

平成27年度は、調査設計、用地買収を実施する予定である。



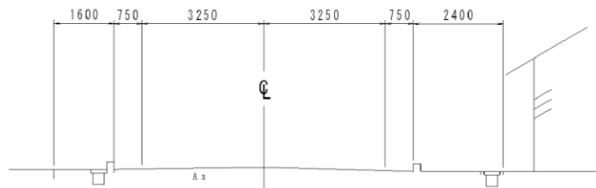
事業箇所図



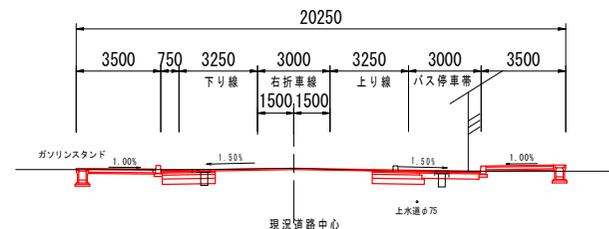
状況写真



現況横断



計画横断



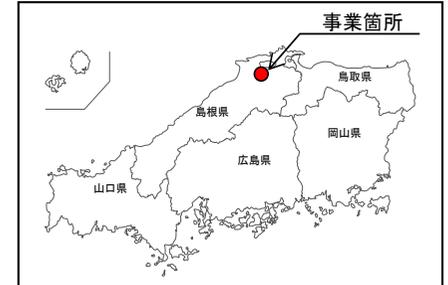
一般国道9号 小松歩道整備事業

事業概要

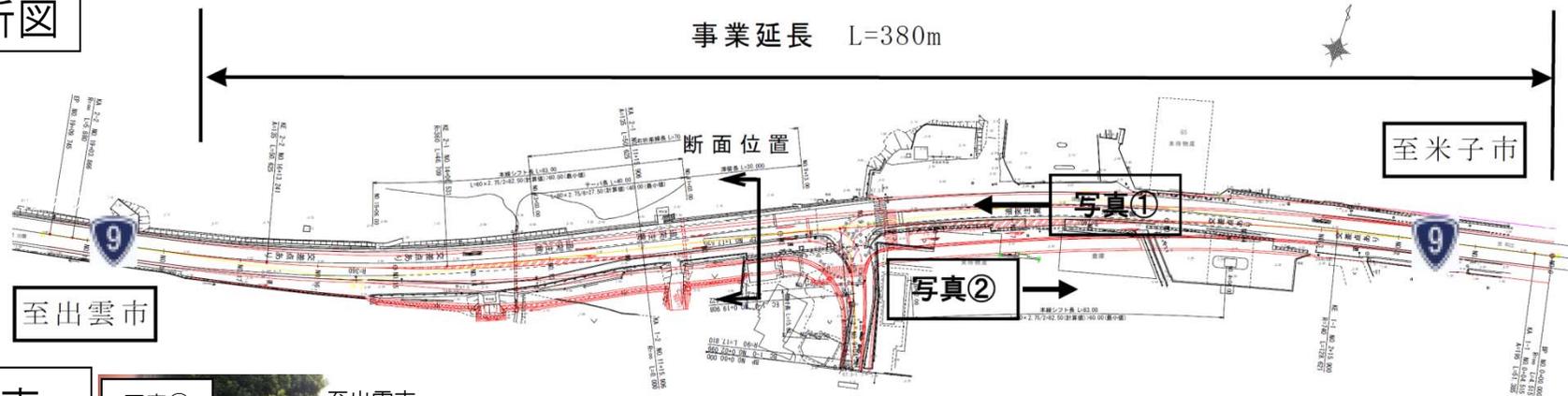
当該箇所は、宍道中学校の学校指定の通学路として指定されているが、一部歩道が狭く自転車の通行が危険な状況に置かれている箇所があり、隣接の民有地に迂回している。さらに、当該箇所の小松交差点は車両感应式・歩行者押しボタン式信号交差点であり、交通量が多く右折レーンが無い為、右折待ち車両の滞留や市道からの無理な進入による出会い頭事故が発生している。

本事業は、歩道を整備し、生徒等の歩行者が安全・安心に通行できる通行空間の確保を図ると共に、右折レーン設置を行うものである。

平成27年度は、調査設計を実施する予定である。



事業箇所図



状況写真



写真①

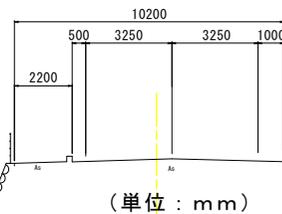
至出雲市

至米子市

写真②

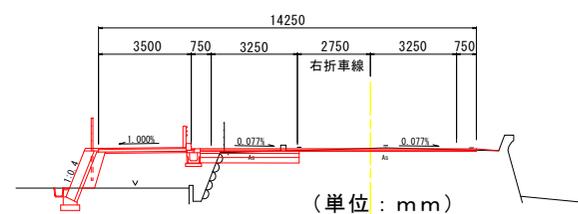


現況横断



(単位：mm)

計画横断



(単位：mm)

一般国道54号 さかもと 坂本歩道整備事業

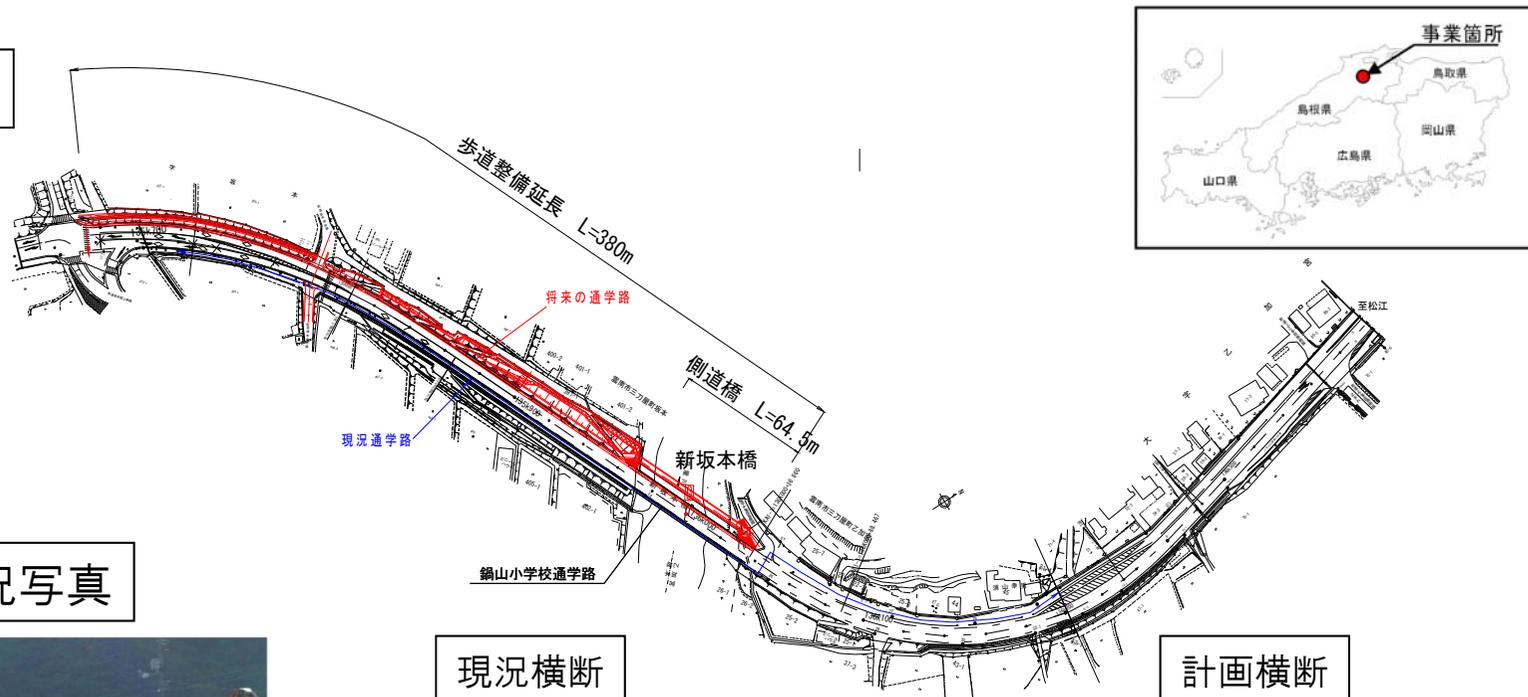
事業概要

当該箇所は、学校指定の通学路として指定されているが、歩道幅員が0.75mと非常に狭く、また、一部歩道が設置されていないことから、歩道の連続性が確保されていないため、学童等の歩行者が危険な状況におかれている箇所である。

本事業は、既設橋梁の下り側に側道橋(歩道)を設置することにより、学童等の歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。

平成27年度は、今年度内の供用に向け、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である

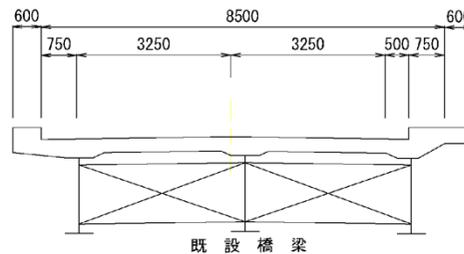
事業箇所図



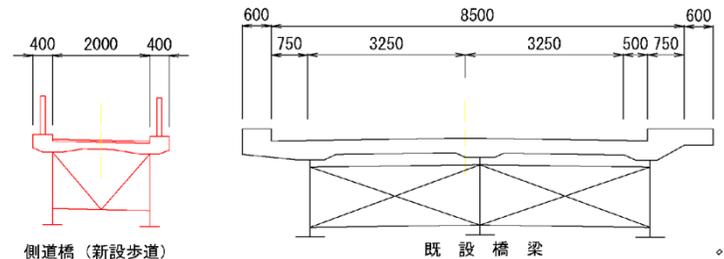
状況写真



現況横断



計画横断



一般国道54号 さとかた 里方自転車歩行者道整備事業

事業概要

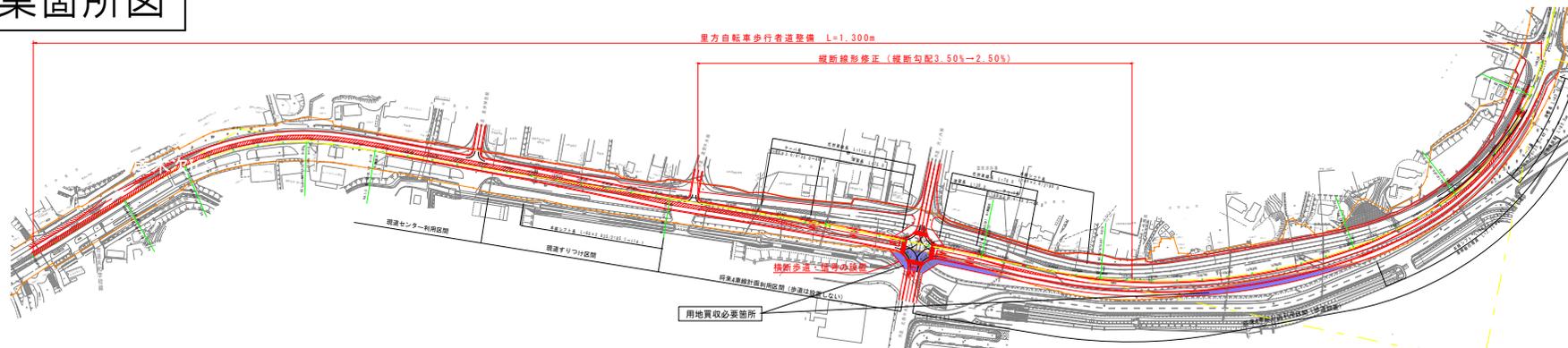
当該箇所は、国道54号と市道尺ノ内線・市道北側中央線が交わる交差点である。周辺には流通団地と工業団地があり、横断する歩行者及び自転車が多いものの、横断施設は約600m離れている箇所にあることから、国道54号の交通量が多い中無理な横断が見受けられる状況にある。また、斐伊小学校の通学路に指定されており、両歩道の整備が求められている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、国道縦断勾配の修正及び横断施設の整備を行うことにより、安全・安心に横断できる歩行空間の確保を行うものである。

平成27年度は、調査設計、用地買収及び工事を行う予定である。



事業箇所図



状況写真



現況横断

【現況】
交差点部



計画横断

【計画】
交差点部
(147k600付近)

